



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和2年9月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和2年9月8日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 市内養豚施設への防犯カメラ導入経費を補助します(資料1)
- 2 全戸に割引クーポン券「食べて応援! 味彩(あじさい) クーポン券」を配布して市内飲食店を支援します(資料2)
- 3 コロナ禍にあって安全に保育を行う市内の保育等従事者に慰労金を支給します(資料3)
- 4 避難所での新型コロナウイルス感染症対策に伴い
防災備蓄品と災害時非常用電源車を整備します(資料4)
- 5 市の魅力を発信するための動画3本を新たに作成しました(資料5)
- 6 ドライブスルー形式で実施した環境リサイクル事業の開催結果をお知らせします(資料6)

その他資料提供

- ・「認知症サポーター養成講座」を開催します(資料7)

○次回開催予定

市議会9月定例会の状況により開催させていただきます。
日程は決まり次第ご案内いたします。

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月7日(月)	12:15	渋川郷学(吉田芝溪)顕彰展開催セレモニー	本庁舎市民ホール	生涯学習課
	15:00	第58回渋川広域圏内発明くふう展審査会	中央公民館	商工振興課
9月8日(火)	13:00	記者会見	記者会見室	秘書室
9月9日(水)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局
9月10日(木)	10:00	9月市議会定例会:表決、決算議案上程		議会事務局
	18:00	ニュージーランド国歌の指導者養成講座	第二庁舎201会議室	政策創造課
9月11日(金)	10:00	9月市議会定例会:決算議案上程		議会事務局
9月12日(土)	8:50 9:30	小学校運動会 新型コロナウイルス対策に配慮した避難所開設・運営訓練(豊秋地区)	伊香保小学校 豊秋小学校	学校教育課 危機管理室
	19:30	伊香保リンク星空観察会2020	伊香保リンク	観光課
9月13日(日)	13:30	市民環境大学第1回	中央公民館	環境政策課
9月14日(月)	10:00	9月市議会定例会:決算議案上程		議会事務局

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月14日(月)	10:00	9月市議会定例会:決算議案上程		議会事務局
9月15日(火)	10:00	9月市議会定例会:一般質問		議会事務局
9月16日(水)	10:00	9月市議会定例会:一般質問		議会事務局
9月17日(木)	10:00	9月市議会定例会:一般質問		議会事務局
	19:00	スポーツ推進委員ラジオ体操講習会	子持社会体育館	スポーツ課
9月18日(金)	10:00	決算特別委員会	大会議室	議会事務局
9月19日(土)	8:25	小学校等運動会	橘小学校ほか	学校教育課
9月20日(日)				
9月21日(月)				

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月21日(月)				
9月22日(火)	9:30	親と子の環境学習会	赤城自然園	環境政策課
9月23日(水)	7:30 10:00	秋の全国交通安全運動車両広報 決算特別委員会	伊香保地区 大会議室	市民協働推進課 議会事務局
9月24日(木)	7:20 10:00	秋の全国交通安全運動車両広報 決算特別委員会	小野上地区 大会議室	市民協働推進課 議会事務局
9月25日(金)	7:20	秋の全国交通安全運動車両広報	北橋地区	市民協働推進課
9月26日(土)	8:30 10:00 14:00	花植栽事業(アナベル植付) JR渋川駅周辺地域再生構想ワークショップ 渋川市版生涯活躍のまち構想ワークショップ	開拓地区 第二庁舎201会議室 第二庁舎201会議室	小野上行政センター 都市政策課 都市政策課
9月27日(日)				
9月28日(月)	7:15 10:00 16:00	秋の全国交通安全運動車両広報 9月市議会定例会:表決、閉会 長寿者顕彰	子持地区 市内	市民協働推進課 議会事務局 高齢者安心課

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月28日(月)	7:15	秋の全国交通安全運動車両広報	子持地区	市民協働推進課
	10:00	9月市議会定例会:表決、閉会		議会事務局
	16:00	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
9月29日(火)	7:20	秋の全国交通安全運動車両広報	赤城地区	市民協働推進課
9月30日(水)	7:30	秋の全国交通安全運動車両広報	渋川地区	市民協働推進課
	18:00	マイ・タイムライン講習会	半田自治会館	危機管理室
10月1日(木)	13:30	優良工事表彰式	大会議室	契約検査課
	18:00	第3回日本のまんなか渋川・市長と語る会	庁議室	秘書室
10月2日(金)				
10月3日(土)				
10月4日(日)				
10月5日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	記者会見	記者会見室	秘書室

資料1

担当：産業観光部農林課 飯塚 裕 電話0279-22-2593 内線4971

市内養豚施設への防犯カメラ導入経費を補助します

7月から県内の養豚場において、子豚等が相次いで盗まれる事件が発生しており、窃盗犯によるCSF（豚熱）の感染リスクが高まっています。そのため、農場への防犯カメラ導入経費に対し補助を行い、防犯体制や防疫対策を強化します。

1 背景

7月から県内の養豚場において、子豚等が相次いで盗まれる事件が発生しており、窃盗犯によるCSF（豚熱）の感染リスクが高まっています。

これまで、CSF（豚熱）対策として、様々な対策を講じてきましたが、窃盗犯からの感染という新たな感染リスクの状況を受け、赤城橘農業協同組合及び北群渋川農業協同組合連名で防犯・防疫対策費用の助成に係る要望書が提出されました。

このことから、農場への防犯カメラ導入経費に対し補助を行い、防犯体制や防疫対策を強化するものです。

なお、県の支援策において導入した防犯カメラに対しても、補助対象となります。県の補助を受けた場合、自己負担が1万円となるため、市が1万円を負担することで自己負担なくカメラを設置することができます。

養豚農家の負担を不要とする防犯カメラ設置に対する支援策は、県内で初となります。

2 概要

渋川市内に豚の飼養施設がある養豚経営体を対象に、防犯カメラの導入に要する経費を支援します。

3 補助額

農場への防犯カメラ導入経費に対し、1台あたり上限1万円（1農場当たり上限4台）。ただし、令和2年7月1日以降の導入経費とする。

4 予算額 208万円 ※9月議会に追加補正予算として計上する予定です。

5 事業期間 令和2年11月末まで

参考

①市内の養豚農家数等

	渋川	子持	赤城	北橘	計
農家数	3	4	11	6	24
飼育頭数	3,157	15,044	40,806	16,068	75,075

②これまで実施したCSF（豚熱）防疫対策 別紙のとおり

渋川市におけるCSF（豚熱）防疫対策

区分	項目	金額（千円）	内容
第1次対策 (H31.3.7)	1 消毒薬剤の無償配布	820	・消石灰（20kg入り）を20袋）、逆性せっけん製剤（1リットル入り）を10本）を無償配布
	2 公共施設への消毒マットの設置	480	・養豚農場がある行政センター等12か所
	3 電牧柵設置に必要な資材等に要する費用の一部補助	4,500	・補助率：資材等購入費の2分の1以内 ・補助事業の期限は令和元年9月末まで（繰越対応） 【平成31年3月補正】
第2次対策 (R元.6.3)	1 野生イノシシの侵入防止柵に金網柵等を追加	5,800	・補助率 ・電牧柵：資材等購入費の2分の1以内 ・金網柵等：資材等購入費の10分の3以内
	1 国・県の事業と協調した金網柵等の設置に要する費用の補助	39,000	・補助率：金網柵等の設置費の4分の1以内 ・農場周囲（金網柵等）上限事業費10,000円／m ・農場出入口門扉 上限事業費40,000円／m ・期限：令和2年3月末 ・国1/2、県1/4、市1/4 【令和元年9月補正】
第4次対策 (R元.10.4)	2 初動訓練の実施(9/26)		・渋川駅前プラザ、道の駅（おのこ、こもち）
	3 担当職員の増員1名(10/1付)		・水沢山、子持山、小野子山、赤城山（鈴ヶ岳）、伊香保ロープウェイ駅、上の山公園（ときめきデッキ）、伊香保森林公園（つつじが丘四阿）
	1 消毒マットの追加設置（3か所）		・5箇所→13箇所（JA北群渋川（1→9）、JA赤城たちばな（4）
	2 登山道入口等への消毒スプレー設置	—	
第5次対策 (R元.10.15)	3 JA関係施設における消毒ポイントの追加設置		・狩猟期捕獲奨励金の増額（現行5,000円/頭に8,000円/頭を追加）（狩猟期11.15～2.29） 250頭×8,000円＝2,000,000円（市費）
	1 野生イノシシ捕獲強化	3,300	・有害鳥獣捕獲奨励金の追加（8,000円/頭、狩猟期以外の有害捕獲）（非狩猟期4/1～11/14、3/1～3/31）100頭×8,000円＝800,000円（県費） ・捕獲機材導入（くぐりわな） 5,000円/基×100基＝500,000円（県費） 【令和元年10月15日専決】
	2 猟友会に対して野生イノシシの捕獲強化の要請		
	3 周辺町村（吉岡町、榛東村）への野生イノシシ捕獲強化の要請		

（次ページへ）

区 分	項 目	金 額 (千円)	内 容
第6次対策 (R2.4.1)	1 繁殖豚のCSFワクチン接種への補助	1, 8 8 7	・補助率：県手数料の2分の1以内
	2 CSF対策消毒用資材等購入	1 9 6	・市有施設等における消毒対策を継続するため消耗品（消毒マット、消毒薬剤等）
	合 計	2, 0 8 3	【令和2年4月当初】
第7次対策 (R2.9.28予定)	1 防犯カメラの導入経費への補助	2, 0 8 0	・補助額：防犯カメラ1台につき上限10,000円 (消費税及び地方消費税を除く) 1 農場につき4台まで
			【令和2年9月補正】
合 計		5 2, 2 6 3	

令和2年9月7日

波川市長 高木 勉 様

波川市赤城町滝沢64番地2
赤城橋農業協同組合
代表理事組合長 萩原 一夫



波川市波川157番地
北群波川農業協同組合
代表理事組合長 今井



養豚施設への防犯・防疫対策費用の助成に係る要望書

平素からCSF（豚熱）の感染防止に対し、様々な対策を講じていただき厚くお礼申し上げます。

さて、県内で7月から養豚場において、子豚等が相次いで盗まれる事件が発生しており、窃盗犯によるCSF（豚熱）の感染リスクが高まっております。

これまで、養豚農家においては、CSF（豚熱）の感染防止に対する様々な対策を講じてきましたが、また新たな脅威にさらされております。対策として養豚場への防犯カメラの設置が有効と考えますが、この経費の増加は養豚事業者にとって大きな負担となります。

本市の養豚は、県内でも有数な産地であり、主要産業となっております。今後も安全・安心な豚肉を消費者へ安定して供給するため、養豚事業者の負担軽減対策を要望します。

記

1 養豚施設への防犯・防疫対策費用の一部助成

資料2

担当：産業観光部商工振興課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2596 内線4890

全戸に割引クーポン券

「食べて応援！味彩（あじさい）クーポン券」を配布して
市内飲食店を支援します

新型コロナウイルス感染症の影響で、売上に大きな打撃を受けている市内飲食店の利用機会を増進させるため、割引クーポン券「食べて応援！味彩（あじさい）クーポン券」を全戸に配布し、市内飲食店を支援します。

配布するクーポン券は、500円割引券×6枚、計3,000円分です。

1 概要

新型コロナウイルス感染症の影響により団体の宴会が大幅に減少し、売上に大きな打撃を受けている市内飲食店の利用機会を増進させるため、割引クーポン券を全戸に配布し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っている飲食店で利用してもらうことで、市内飲食店を支援します。割引クーポン券の利用は、しぶかわ元気券利用期間終了直後から開始して、市内飲食店への切れ目のない支援を行います。

2 割引クーポン券の名称

「食べて応援！味彩（あじさい）クーポン券」

3 クーポン券の配布対象者

令和2年10月1日時点で本市の住民基本台帳に登録されている全ての世帯に、郵送でクーポン券を配布します。ただし、10月2日以降に転入した世帯についても、本人からの申し出があれば、追加で配布します。

4 クーポン券が利用できる店舗

市内に本店がある飲食店で、業界団体が作成したガイドラインに基づき群馬県が認定している「ストップコロナ！対策認定制度」の認定を受けている店舗です。

利用できる店舗には、市が配布するポスターが掲示されます。

5 店舗の登録期間

クーポン券が利用できる店舗となるには、あらかじめ市に申請が必要です。

申請期間は、10月1日（木）～令和3年1月29日（金）を予定しています。

6 クーポン券の利用方法

計3,000円分の割引クーポン券（500円券×6枚）を、11月下旬に郵送で送付します。

利用者は、登録店舗でクーポン券を提出することで、利用金額を上限として、提出したクーポン券1枚につき500円の割引を受けることができます。クーポン券は、店舗内での飲食代金のほか、テイクアウトやデリバリーにも利用できます。

登録店舗は、提出されたクーポン券1枚につき500円をその場で引きし、後日、割り引いた分の料金を市に請求します。

7 クーポン券の利用期間

12月1日(火・しぶかわ元気券利用期間終了後)～令和3年2月28日(日)

8 周知の方法

店舗の登録については広報しぶかわ10月1日号で、クーポン券の利用については広報しぶかわ11月15日号で周知します。そのほか、市ホームページへの掲載、商工団体などを通じて、広く市民に周知します。

9 予算額 5,385万2千円

内訳：補助金 3千円×3万3千世帯×1/2=4,950万円

事務費 印刷製本費、郵便料等 = 435万2千円

※9月補正での予算措置を予定しています。

参考

「ストップコロナ！対策認定制度」

新型コロナウイルス感染拡大により深刻な影響を受けている小売・飲食サービス業等の事業者は、テイクアウトやデリバリーなど、新しい営業手法を取り入れ、売上回復を図るとともに、業界ごとに作成したガイドラインに基づいて、様々な感染症対策を行っています。

その一方で、事業者の多くは、先行きが見通せない中、客足の回復に不安を抱いており、消費者の側においても、各店舗が感染症対策を行っているか心配する声も聞かれます。

これらのことから、業界ごとに作成しているガイドライン等に基づき、感染症対策を適切に行っている店舗を認定し、その店舗に認定ステッカー等を掲示することにより安全性をPRできるといった、群馬県が創設した制度です。

資料3

担当：福祉部こども課 課長 中山 久子 電話0279-22-2415 内線1201

コロナ禍にあって安全に保育を行う市内の保育等従事者に慰労金を支給します

新型コロナウイルスの集団感染の発生リスクがある中において、強い使命感を持って業務に従事している民間保育所や放課後児童クラブ等の従事者に対して、慰労金を支給します。支給額は、保育等従事者に1人当たり3万円、放課後児童クラブ従事者に1人当たり1万円です。

1 目 的

児童福祉の従事者は、密集及び密接が生じやすい環境下で新型コロナウイルスの集団感染の発生リスクがある中においても、正確に症状を訴えられない児童との接触を伴い、業務を安全かつ継続して提供することが求められます。

本市では、心身に相当程度の負担が生じているにも関わらず、強い使命感を持って業務に従事している児童福祉の従事者に対して、慰労金を支給します。

2 事業内容

(1) 支給対象者

令和2年4月16日から6月30日までの間に、本市に所在する民間保育所、民間認定こども園又は地域子ども・子育て支援事業（延長保育事業、放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、病児保育事業）を実施する施設で通算して10日以上勤務した従事者

(2) 支給額

- ア 保育等従事者 1人当たり3万円
- イ 放課後児童クラブ従事者 1人当たり1万円

(3) 支給回数 1人につき1回

3 支給手続き

施設の設置者又は事業の実施者は、支給対象者から慰労金の支給に関する代理申請・代理受領の委任状を徴集（当該設置者又は当該実施者が保管）し、市に支給申請書及び支給対象者一覧等を書面で提出（代理申請）します。

市は、施設の設置者又は事業の実施者に対して慰労金を支払い（代理受領）、施設設置者等を経由して支給対象者に支給します。

4 予 算 額

- (1) 民間保育所等 1,062万円（354人×3万円）
- (2) 放課後児童クラブ 129万円（129人×1万円）

※9月補正での予算措置を予定しています。

資料4

担当：危機管理室 室長 斉藤 章吉 電話0279-22-2130 内線8210

避難所での新型コロナウイルス感染症対策に伴い 防災備蓄品と災害時非常用電源車を整備します

避難所における新型コロナウイルス感染症対策を実施するため、体調不良者用ベッドや空間除菌器等の備品整備を行うほか、停電時に避難所への電力供給を行うため、本庁舎及び各行政センターへEV車を配置します。

1 概要

新型コロナウイルス感染症対策として、避難所を開設した際に使用する体調不良者用ベッド、空間除菌器、ジェットヒーター、間仕切りパーティションの防災備蓄品整備を実施します。また、避難所での感染拡大防止のため、避難所の開設箇所を増設することから、停電時に小型発電機では対応しきれない避難所へ、早期に電力供給を行うため、機動力のあるEV車を本庁舎及び各行政センターへ配置します。

2 整備内容

(1) 防災備蓄品整備事業

- ①パイプベッド：500台（各指定避難所に10台）、避難所での体調不良者や高齢者用として整備
- ②空間除菌器（ミストジェネレータ）：13台（公民館と本庁舎）、安定化次亜塩素ナトリウム水による空間除菌用として整備
- ③ジェットヒーター（大型石油ストーブ）：6台（各地区）、冬場の避難所の暖房及び空気循環用として整備
- ④間仕切りパーティション：30セット（追加した指定避難所分）、追加した3カ所の指定避難所用として整備

(2) 災害時非常用電源車整備事業

- ①防災指導車：普通車1台（本庁舎）、荒天時や悪路等でも走行できるよう4WDのPHEV車
- ②電源供給車：普通車1台（本庁舎）、旧市内の避難所対応用EV車
- ③電源供給車：軽バン5台（各行政センター）、伊香保・小野上・子持・赤城・北橋の各地区の避難所対応用EV車

3 予算額 3,950万1千円

※9月補正での予算措置を予定しています。

4 その他

県内他市において、非常用電源車としてEV車を配置している市はありません。

資料5

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏伸 電話0279-22-2182 内線2411

市の魅力を発信するための動画3本を新たに作成しました

交流人口や関係人口の拡大を通じ、移住・定着の促進につなげていくことを目的に、今年度10本のPR動画を作成します。今回、「渋川市の春をテーマとした動画」、「創作こけしをテーマとした動画」、「あじサイクルをテーマとした動画」の3本が完成しました。

1 目 的

市では、交流人口や関係人口の拡大を通じ、移住・定着の促進につなげていくことを目的に、今年度10本のPR動画を作成します。

今回、「渋川市の春をテーマとした動画」、「創作こけしをテーマとした動画」、「あじサイクルをテーマとした動画」の3本が完成しました。

動画は、日本語のほか英語、中国語（簡体、繁体）でも作成し、観光面での活用も行います。

2 動画の内容

（1）渋川市の春をテーマとした動画（2分8秒）

動画タイトル「渋川の春を奏でる花たち」

渋川市内の桜・つつじの名所を紹介し、「桜の時期には、渋川市に行ってみよう」と思っただけの動画です。

（2）創作こけしをテーマとした動画（4分3秒）

動画タイトル「時を超えて 渋川の創作こけし」

渋川こけし人形会の藤川正衛会長のインタビューや渋川市地域おこし協力隊の活動の様子を交え、伝統工芸である「創作こけし」の魅力を紹介した動画です。

（3）あじサイクルをテーマとした動画（2分7秒）

動画タイトル「無料レンタサイクル あじサイクル」

渋川駅前プラザにおいて無料で貸し出しをしている「あじサイクル」の活用方法や市内周遊スポットの紹介をまとめた動画です。

3 PR動画の活用方法

（1）渋川市公式YouTubeに公開中

（2）渋川駅観光案内所モニターでの放映

（3）ぐんまちゃん家設置モニターでの放映

※上記以外にも、今後の利用方法を検討します。

4 動画へのアクセス方法

- (1) 市ホームページのトップページに配置した右記の渋川市公式YouTubeサイトバナーからアクセスしてください。



- (2) 下記の2次元コードからアクセスしてください。
- ・渋川市の春をテーマとした動画（2分8秒）



- ・創作こけしをテーマとした動画（4分3秒）



- ・あじサイクルをテーマとした動画（2分7秒）



- 5 問い合わせ先 市長戦略部秘書室広報戦略係（電話0279-22-2182）

資料6

担当：市民環境部環境政策課 課長 内田 貞徳 電話0279-22-2114 内線1140

ドライブスルー形式で実施した環境リサイクル事業の開催結果をお知らせします

毎年9月に開催している「しぶかわ環境まつり」に代わり、牛乳パックと集積所には出せない処理困難物をの回収コーナーに限定して9月6日(日)に開催した「環境リサイクル事業」の結果をお知らせします。

来場者はおおよそ2,100人。家電4品目をはじめとする処理困難物はドライブスルー形式による回収を行い、前年度の2倍以上の回収量となり大変好評でした。

1 概 要

市民に環境への関心を高めていただき、環境施策の推進を図ることを目的として、毎年9月に開催している「しぶかわ環境まつり」について、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、資源のリサイクルコーナーに限定した「環境リサイクル事業」をドライブスルー形式で開催しました。

2 日 時 令和2年9月6日(日)午前9時～正午

3 会 場 子持ふれあい公園(渋川市吹屋658-1)

4 結 果

(1) 牛乳パックの交換回収コーナー

トイレットペーパー11,000個(前年度9,021個)を用意しましたが、418人が来場し午前11時には在庫がなくなりました。その後の来場者には後日交換することとしました。(牛乳パック1kgにつき、トイレットペーパー3個と交換)

(2) 処理困難物の回収コーナー

通常はごみとして集積所に出せない、下記の回収を行いました。

①家電4品目(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)の有料回収
=160件(前年度75件)

②消火器の有料回収=87件(前年度58件)

③タイヤの有料回収=202件(前年度112件)

④バッテリーの無料回収=73件(前年度35件)

※回収量が増加した理由として、重い家電やタイヤなどがドライブスルー形式によって搬出しやすかったことや、新型コロナウイルス感染防止対策の外出自粛期間中に自宅の片付けを行った家庭からの回収量が増加したことが想定されます。

5 主 催 渋川市(委託先：渋川市環境美化推進協議会)

資料7

担当：福祉部高齢者安心課 課長 松下 恵子 電話0279-22-2179 内線1224

「認知症サポーター養成講座」を開催します

1 目 的

認知症の正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になってもできるだけ地域で暮らしていけるまちづくりにつなげるため、「認知症サポーター養成講座」として講演会を開催します。

2 内 容

- (1) 講 師 群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 山口智晴 教授
- (2) 演 題 誰もがいつかは認知症～お互い様の社会に向けて～

- 3 開催日時 令和2年9月29日(火)午後1時30分～3時
※受付は午後1時から

- 4 会 場 渋川市民会館 小ホール

- 5 参加対象 渋川市在住・在勤の人

- 6 定 員 100人(先着順)

- 7 参 加 料 無料

- 8 申込方法 電話で渋川市中央地域包括支援センター
(高齢者安心課内・電話0279-22-2179) へ

- 9 申込開始日 令和2年8月24日(月)

10 そ の 他

受講者には認知症サポーターの証であるオレンジリングを差し上げます。

参考

認知症サポーターは、何か特別なことをするのではなく、できる範囲で手助けを行います。たとえば、友人や家族に認知症について正しく伝える、認知症の人や家族の気持ちを理解するように努めるなど、活動内容は人それぞれとなります。

認知症サポーター 養成講座



誰もがいつかは認知症 ～お互い様の社会に向けて～

認知症サポーターとは・・・

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

認知症について学び、あなたも認知症サポーターになりませんか？



受講者にはオレンジリングを
差し上げます♪

☆日 時 令和2年9月29日(火) 午後1時30分から3時

(受付 午後1時から)

☆会 場 渋川市民会館 小ホール

☆対 象 渋川市在住・在勤の方

☆講 師 山口 智晴 先生

群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授

☆定 員 先着100人 ※8月24日(月)より申込み開始

☆費 用 無料

前橋市で認知症の方や家族の方への相談・支援を実践中。
わかりやすい講義が人気です。

注意事項

- ◆ 当日は、マスクの着用をお願いします。
- ◆ 筆記用具を持参してください。
- ◆ 当日、発熱や体調不良のある方は参加をご遠慮願います。
- ◆ コロナウィルス感染拡大防止のため、講座が中止となる場合があります。

＜お申し込み・お問い合わせ＞

渋川市中央地域包括支援センター ☎0279-22-2179